

アスパークだより

No. 441 7月15日発行 富岡竜治

9月20日からラグビーのW杯が日本で開催されます。

日本は前回大会でラグビー強豪国の南アフリカ、通称スプリングボックスを破り、世紀の番狂わせを起こしました。

今大会の見どころや注目選手を紹介したいと思います。

日本の対戦相手

日本代表はプールAの初戦でロシアと対戦します。ロシアは大柄な選手が多く、フィジカルな戦いをしてくるチームです。日本代表にとっては格下ではありますが、前回の対戦でも接戦にもちこまれており油断はできません。グループリーグ突破の為にも確実に勝っておきたいところです。

2戦目はアイルランドと対戦します。アイルランドは現在、世界ランキング3位で優勝候補にも挙げられている強豪です。2018年の世界最優秀選手であるSOのジョナサン・セクストンを中心に「魂のラグビー」と称される全員ラグビーで戦います。日本代表も苦戦が予想されています。

3戦目はサモアと対戦します。サモア、フィジー、トンガの3か国の選手はパシフィックアイランダーと呼ばれ、非常に高い身体能力を持っています。彼らは世界各地でプレーしているので集まる機会が少なく、連携などは今一つなのですが、高い個人能力を活かしたラグビーをしてきます。特にFBティム・ナナイウィリアムズの変幻自在のステップは脅威です。日本代表は緻密な連携とチームワークで勝利してほしいです。

予選プール最終戦はスコットランドと対戦します。前回大会では南アフリカを破った後、中3日の厳しい日程でスコットランドと対戦し、大敗してしまいました。この敗戦が響き日本代表は決勝トーナメントに進めませんでした。プールAはアイルランドの力が抜けているとみられており、この最終戦に勝った方が予選を突破すると予想されます。スコットランドの中心は正確なキックが武器のSHクレイグ・レイドローです。彼を中心に高いフィジカルを活かした堅実なラグビーをしてきます。日本代表には是非前回大会のリベンジを果たして決勝トーナメント進出してほしいです。

日本代表の注目選手

日本代表の注目選手を紹介したいと思います。

まず1人目は不動のキャプテン、リーチマイケル選手です。リーチ選手はニュージーランド出身で高校生のときに留学生として来日しました。東海大学、東芝と進み日本代表に入りました。前回大会もキャプテンとして、日本の快進撃に貢献しました。選手としての特徴は激しいタックルと運動量です。今大会もキャプテンとして日本を引っ張っていきます。

2人目はスピードスター福岡堅樹選手です。福岡選手は爆発的なスピードが武器のウィングです。福岡選手は現在26歳なのですが来年の東京オリンピック後に引退すると公言しています。その理由はもう一つの夢、医者になるためです。ラグビーと医者2つの夢を追いかける福岡選手に注目です。

最後に紹介するのは新潟市出身の稲垣啓大選手です。稲垣選手はスクラムの最前線で押し合うプロップというポジションです。身長186cm体重115kgの大きな体で豊富な運動量と激しいタックルが持ち味です。秋葉区出身で亀体にも何度も遊びに来たことがあるそうです。新潟市民みんなで応援しましょう！

3連覇なるか

前回、前々回大会を連覇しているラグビー最強国、ニュージーランド・オールブラックスが3連覇を果たすのかが注目されています。世界最高の選手といわれているボーデン・バレットやキャプテンを務めるキアラン・リード、ボクシングのヘビー級選手としても活躍したソニー・ビル・ウィリアムズなどスター選手揃いのオールブラックスのアタッキングラグビーは本当に面白いので必見です。

前回大会の日本代表監督エディ・ジョーンズ率いるラグビーの母国イングランドが3連覇を阻止するのか、アイルランドが悲願の初優勝をするのか、近年低迷していたオーストラリアや南アフリカが巻き返すのか、見どころがありすぎて書ききれません。(笑)